

清流

西粟倉中学校だより
令和5年12月19日(火)



12月の生徒会 SDGs

「気持ちの切り替えをして1分前着席をする」

校長雑感

～節目を刻む～



この文章を書いている今日は12月15日、いよいよこの2学期も残り約1週間となりました。振り返ると、学校を彩る光景はさまざま、一つ一つのイベントには、楽しみと悩み、喜びと悔しさ、笑顔と涙、そしてドラマと感動がありました。残暑のきびしい中、取り組みがスタートした合同運動会。練習期間から中学生がリーダーとなり全体を引っ張り、一人一人が輝き最高のパフォーマンスを演出しました。本気で、夢中になって取り組み、スローガンの「勝負笑美戦」を体現した合同運動会でした。また、各学年が創意工夫して作り上げた学習発表会。ひとつのものをみんなで作り上げる難しさ面白さを実感したと思います。それぞれの学年の団結力を感じた学習発表会でした。いろいろなことに気づき、たくさんのことを学び、時には深く考えさせられた今学期の2大イベントでした。また、日常においても生徒会活動や部活動等で、皆さんの頑張る姿をたくさん見ることができました。これら一つひとつの経験を通して、皆さんの確実な成長を実感しています。

ところで、皆さんは「竹」というとどんなイメージを持ちますか。竹は、毎年地下茎の節にある芽からタケノコが生じ、半年もすると立派な若竹に成長します。樹木で幹に当たる部分を「稈(かん)」と呼び、稈には所々に節があり、真っ直ぐにしなやかに伸びていきます。どっしりと構え、一見強そうな大木も強風で倒れることもあります。竹は風が吹くとぐっしりなり、ざざざと音を立ててゆっくり元に戻るといふしなやかさを持っています。このしなやかさは、ところどころにある節によって生み出されています。また、田畑の雑草の中にも節を持つものが多くあります。やっかいな雑草として知られるメヒシバやツユクサはその代表で、茎を伸ばしては節を作り、節を作ってはまた茎を

伸ばします。耕されたり、草刈りをされたりする田畑で、これらの雑草はちぎれても、刈られても、茎の節目から再び芽をだします。(田んぼの畦の草刈りをしても、夏場だと半月もすれば元通りに生い茂り、また草刈りしないといけないかと気が滅入ることもしばしばです。)雑草にとって、節目は成長の軌跡であると同時に再出発の拠点ともなります。ただやみくもに伸びただけの茎は、何かの拍子に茎が折れてしまえば成長が止まってしまうのですが、節のある雑草は逆境に強いです。

人生の中には、試練や壁がいくつかあります。このあとに控えている高校入試、その先の大学入試や就職試験等の大きな節目には、いやがおうでも勉強しなければなりません。それは、大きな試練であり、また乗り越えなければならない壁です。そういった壁にぶつかって苦勞する経験が一つ、また一つと節目を刻み、やがて、しなやかにしっかりと芯をつくっていくのです。人からせかされて行動するのではなく、自らの意志と考え方で取り組んでいくことが大切です。自らの意志で節目をつくって枝を出し、その枝が次の成長に欠かせないものとなって、また次の枝を出して成長し続けるのです。三者懇談で自分の成長や課題、そして、これからの目標などを考えることと思います。今の頑張りが明日につながり、その積み重ねが目標達成に近づき、可能にします。成長の証でもある節目を、今後もひとつひとつ刻んで欲しいと願います。

結びになりましたが、もうすぐ新しい年を迎えます。保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動にさまざまな形でご協力とご支援をいただき、ありがとうございました。無事、2学期を終えることができますのも皆様のお力添えがあったからこそと感謝しております。どうぞ良いお年をお迎えください。そして、3学期もよろしく願いいたします。



1・2年生保健体育 ～剣道～

浜瀬先生とともに、小林綾子先生と小林功典先生にご指導いただきました。



3年乳児ふれあい体験
妊婦・出産体験、沐浴練習をしました。



村ネット研究授業
～理科～
実験結果をタブレットで
まとめました。



国語科 西元相美先生による全学年書写



PTA 交通当番感想より(一部抜粋)

「雨でしたが、気持ちの良い時間をすごせました。ありがとうございました!」

「登校中の小学生・中学生・通勤中の方にも元気をいただきました!!ありがとうございました!!」

「声をかけたら、かわいい笑顔であいさつを返してくれて元気をもらいました。車の人も会釈してくれてうれしかったです。」

…生徒の安全の見守りをありがとうございます。寒い季節になりました。立ち位置や時間、天候などを考慮して、保護者の方の安全確保にもご留意ください。

グッドビヘイビアカードの取り組み

昨年度より、本校では、グッドビヘイビアカードの取り組みを行っています。学校生活の中で、思いやりのある行動や誰かのための自主的な良い行いに対して感謝と称賛のカードを渡しています。この取り組みを通して生徒の自己肯定感や自己有用感の向上を図っています。

ほんのちょっとした温かい言葉や行動が周囲の人を爽やかに幸せな気持ちにしてくれます。自然とグッドビヘイビアがあふれる学校を目指しています。



Merry Christmas and Happy New Year!

